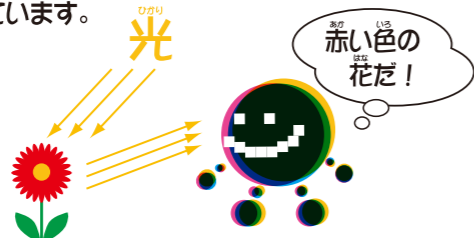
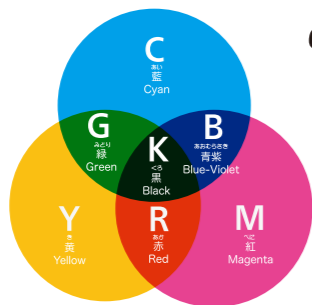


印刷のしくみ「色」

● 私たちが「物体の色」を知る為には光が必要です。そして物体から反射された光によって「物体の色」を認識しています。

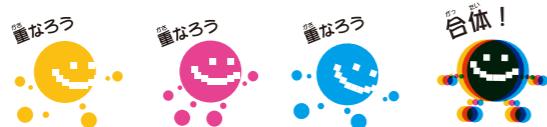


● 印刷物ではシアン(Cyan)、マゼンタ(Magenta)、イエロー(Yellow)の3色を使って色を表現しています。これを「色の三原色」または「色材の三原色」といいます。



● CMY3色が同じ量だけ重なると理論上は黒になりますが、実際は少しにごった色になるので、黒を加えて深みのあるきれいな印刷物を作っています。

$C + M + Y = K$



● フルカラー印刷はCMYKの4つの色の点を少しずつずらしながら重ねて色を表現しています。

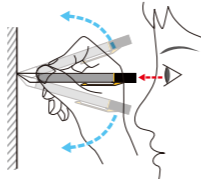


● これまで勉強した事をもう一度思い出しながらい印刷物を見てみましょう。

ルーペで見よう!

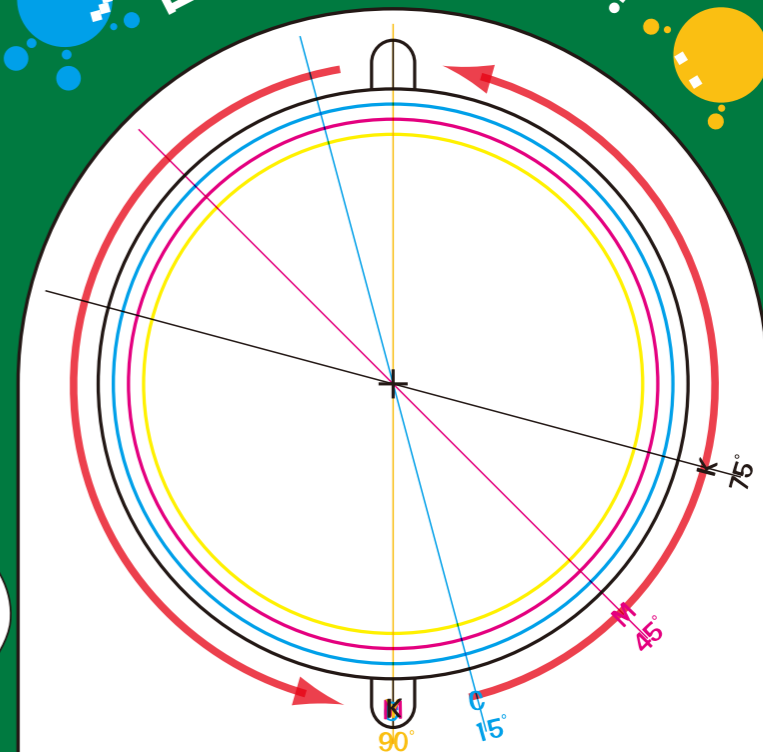
● 拡大率 20倍程度のルーペで、身の回りにある印刷物をのぞいてみよう。

ルーペの使い方



元紙のアクリル板(とうめいな透明板)を真横のものを上において、角を揃えながら、指がもつとむくつきが見えるところで固定して観察してください。

まわ回してみよう!



● 同じ角度で並んだ点が重なるとモアレという干渉縞が発生する事があります。これを防ぐ為に、各色版の角度を調節します。角度は何パターンがありますが、ここではC15° M45° K75° Y90° で表記してあります。

